

8月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km～21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 8 月 2 日	実施区間	15.0km ～18.0km (右岸)

優雅に泳ぐ？シラサギの群れ

朝から照りつける夏の太陽

8月2日(金)、猛暑が予想されるため、朝6時に家を出て、矢作川に向かいました。

抜けるような青空の下、車の温度計はすでに30度を超えていました。

この日は、右岸の堤防を走りながら、矢作川の様子を観察しました。

16km付近で車を止め、良く視ると、遠い川面に白い鳥が、10羽近く優雅に泳いでいました。ひょっとしたら、のんびり泳いでいたのではなく、餌の魚を懸命に探していたのかもしれません。白い鳥は、おそらく、シラサギだと思われます。



① 優雅に泳ぐシラサギの群れ(16Km付近)

響き渡るクマゼミの鳴き声

次に、新幹線橋梁付近に移動しました。車から降りると、クマゼミの鳴き声が河川敷全体に響き渡っていました。去年の記録を見返すと、やはり、この時期にはクマゼミの鳴き声が記されています。

近年はアブラゼミより、クマゼミの方が多いようです。梅雨が終わった後、このあたりの河川敷は砂浜が増え、優しい表情をみせてくれます。



② 河川敷一帯に響くクマゼミの鳴き声(新幹線橋梁付近)

護岸のコンクリート壁に チェックの赤枠

河川敷の公園近くの護岸を歩いていると写真のようなチェックの赤枠を見つけました。これは、破損した部分の目印として書かれた赤枠と思われます。数字なども書かれていたので、近い時期に補修すると思われます。丁寧な点検・保守作業がされているようです。



③ ひび割れたした護岸壁を、赤枠でチェック
(右岸15Km付近)